



風

■編集・発行／やしおマメ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

巻頭所感

私達が目指す地域社会の姿とは？

崩壊から新たな創造へ

年頭所感

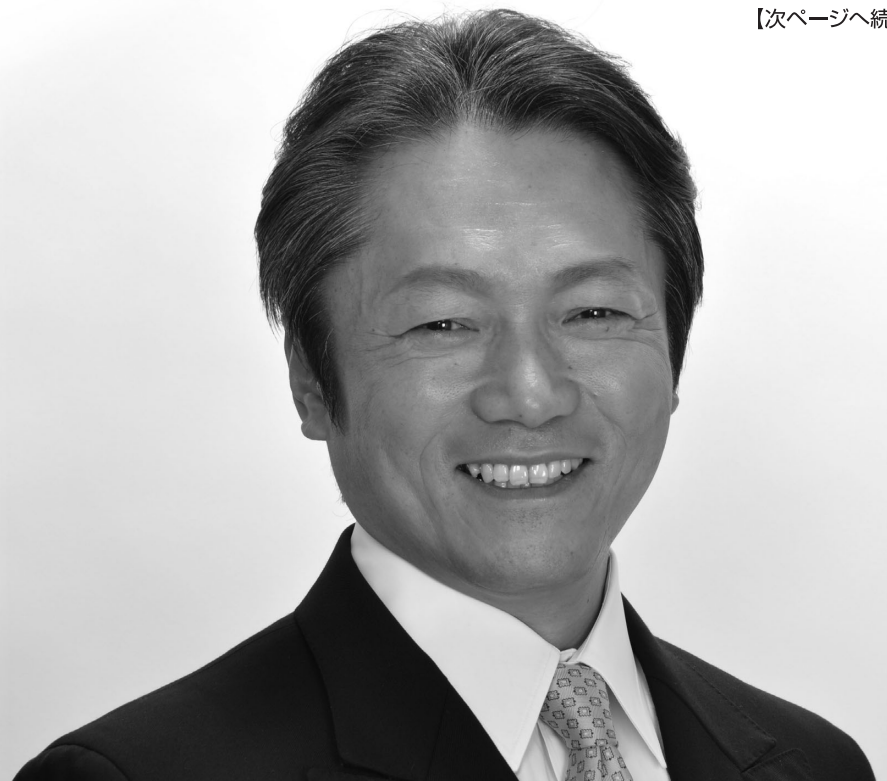
平成23年がスタートしました。皆様、おそろいで穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私の今期も3年半が過ぎました。議会においては、監査、決算の役を務め、テーマごとに思い描いていたものができたと思います。これも皆様のご支援あつてのことと、心からお礼申し上げる次第です。

さて、かつて存在した終身雇用制が崩壊し、少子高齢化、核家族化が進む中で、社会とのコミュニケーションが出来ない、あるいは拒否する若者や中年層の急増で、日本は人々が孤立しやすい社会へと急速に移行しています。「無縁社会」という言葉もクローズアップされています。

私は、政治の道を歩むにあたり、個人と家族、社会が自立、連帯し、共生する地域社会の確立を一貫して主張し、行動してきました。今日の日本社会・経済が抱えるこの課題の重要性と解決への時代の要請は、益々高まっています。

【次ページへ続く】



埼玉県議会議員 **大山しのぶ**

CONTENTS

巻頭所感	A-1	A-2
告知(ブログスタート)	A-2	
2011年活動テーマ	B-1	B-2 B-3
プロフィール	B-1	
告知(ミニ集会募集)	B-2	
大山県議が進めた八潮市での事業	B-4	
12月定例会報告	A-3	
決算委員長報告	A-4	

巻頭所感

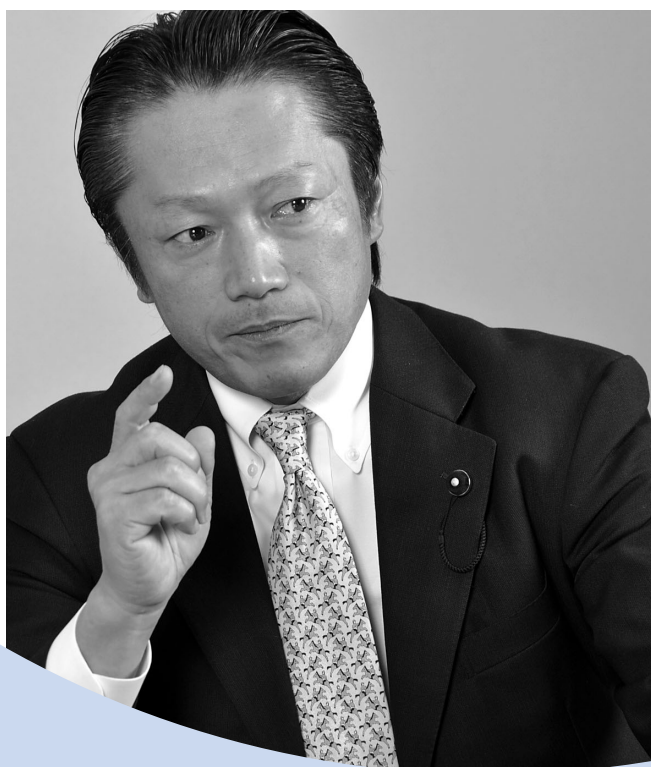
**急速に孤立化、無縁化する社会。
その解決が社会のテーマ!**

長引く景気低迷と格差社会の進行で、問題は複雑さを増しているのは事実です。しかし、私は悲観はしておりません。私は住民の自立による解決を提唱してきましたが、ヒントとなる住民主導で自分たちの地域を再生しようという動きも出ています。

高度成長期に建設された高島平団地(東京板橋区)は、バブル崩壊後、空室の急増と空洞化、都内平均を大きく上回る人口の高齢化、建物の老朽化に見舞われました。スラム化に対処するため、団地の自治会では外国人留学生を受け入れ、自治会としてのルールを教え、若者と高齢者の絆をつくり、地域の中に組み入れて成功している例もあります。

地域再生には、学校を核にするのもひとつの考えでしょう。子供を通じて、親がつながり、そして地域とつながっていく。この点を見れば、PTAの活性化・再構築は学校だけでなく、地域の再生にも活かされます。

勿論、各地域はそれぞれの事情があり、行政主導では対応できないものもありますが、こういった動きを後押しできるように、行政が情報提供や支援を行なっていく仕組みをつくるべきと考えています。



**共生と協働、理想の地域社会。
私達の地域から創り上げよう!**

私は地域の理想を次のように考えています。豊かな自然と人情があり、子育てしやすい。教育レベルが高く、整備された交通網を利用して、近隣の都市と人的にも経済的にも豊かに交流し、同時に世界ともつながっていく。社会性、公共性、協調性のある地域社会。これを併せ持つコンパクトシティが私の理想です。そこでは、人々がお互いに協力し、一緒に生きているという感情や気概を共有して、助け合って、暮らせる社会です。

私はその理想に向け、創意工夫とチャレンジの精神で、八潮市、埼玉県、そして日本の次代を築く施策をひとつひとつ形にして参ります。次の埼玉、次の日本へ…。ともに輝かしい未来をつくるため、力を合わせて参りましょう。

本年も、精一杯、努力して参りますので、私の政治活動に対し、倍旧のご支援、ご協力をお願いいたします。

2011年が皆様にとって、素晴らしい年となりますことを祈念しております。

埼玉県議会議員 **大山しのぶ**

アクセス、お願いします。
大山しのぶ県議、ブログを始めました。



大山しのぶ県議がブログを開始しました。日々の思いや活動の報告、政策などを折に触れて、発信します。どうぞご覧下さい。コメントもお寄せ下さい。
(Ameba認定・政治家公式ブログです)

<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>

大山しのぶ県議が語る。 平成23年度からの政策テーマ

大山しのぶ県議は、自立と共生の社会を地域で実現するというビジョンのもと、日々、新政策を進めてきました。この度、大山しのぶ県議は平成23年度から取り組む自らの政策テーマを明らかにしましたので、そのポイントを語っていただきました。

の政策を重点化し、整備を進めることを提唱します。

財政を出動し、医師、看護師、医療技術者の増員を図ります。介護サービスの供給には、報酬の低さによる労働者不足が挙げられていますが、このギャップ分を補填すれば、多くの雇用を生むことができ、失業手当よりもはるかに持続性の高い施策です。

この政策転換による、新しい社会インフラとしての医療介護産業の育成は極めて公的な意味合いの強い経済政策となり、ひいては内需拡大と税収増が県内経済への活力にもつながっていきます。

【次ページへ続く】

① テーマ 2011 福祉・健康・雇用

- ◆介護・福祉を社会インフラとして整備
- ◆医療の拡大と保険の充実
- ◆雇用対策・失業対策としても整備

■経済発展の基礎として大胆に取り組もう!

我が国は、経済成長時代の社会モデルに代わる新しいモデルが必要となっています。そこで、私は今までの高齢者対策を、新たに成熟社会・経済産業政策として位置付け、セーフティーネットとして「介護サービス」「安心して利用できる介護保険制度」「安心で質の高い医療サービス」「高齢者が安心して住める住宅・まちづくり」等



大山忍(おおやま・しのぶ) プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(53歳)●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。●昭和61年から国会議員秘書経験12年。●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。●平成12年、埼玉県議会議員に初当選。(現在3期)●現在、企画財政委員会委員、暮らしの安心・安全対策特別委員長、決算特別委員長、埼玉県都市計画審議会委員、八潮市体育協会会長を務める。

埼玉県議会議員

大山しのぶ

◆大山しのぶ公式ブログをご覧ください。

<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>

◆ホームページのアドレスは2009年から変更になっています。

<http://www.s-oyama.jp/>

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK TEL.048-994-6000 FAX.994-6001

次の埼玉、次の日本へ 大山しのぶ県議

テーマ 2011

② 子育て・教育・人づくり

- ◆子供を生み、育てたくなる環境整備
- ◆教育のレベルアップ
- ◆コミュニティの再生・人と人が助け合う協働社会づくり

■国を先取りする形で新プランを提案!

今、「子ども手当」で現金を支給していますが、お金をもらっても、必要な保育サービスや教育サービスが不足しているのが現実です。多様なライフスタイルにあった、保育施設・子育てサービスの充実を進めるべきです。

私は新提案として、例えば、3歳までは基本的に子供は家庭で育てることを基本に、働く人達が子育てで休職しても、6割はサラリーを保証する。その代わりに、子供が3歳過ぎたら社会復帰して、職場に戻れる。そこからはフルタイム労働か、在宅勤務か、パートタイムかは選択の幅をもたせていくような仕



組みを埼玉県で先取りすべきと考えています。

教育政策は、私はまず、学校内で、基本的学力をしっかりと身につけること。補習を塾に頼らねばいけないような学校ではいけません。そして社会に対する考え方、基本的な集団生活行動を身につけることを教育の原点に据え、カリキュラムを見直します。教育は地域の未来をつくること、社会の活力を産み出します。埼玉県の教育レベルを向上させ、地域での交流を進め、大人も子どもも学び合う教育立県を目指します。

テーマ 2011

③ 産業・まちづくり

- ◆先端技術の集積と地場産業との共同
- ◆都市近郊農業、特色ある農林業の育成
- ◆総合交通体系の整備・促進
- ◆犯罪・災害に強いまちづくり

■地の利を活かし活力ある埼玉に!

埼玉県は東京という一大消費圏に隣接するという地の利があります。我が国の環境技術は世界のトップランナーですから、例えばこういった分野の先端技術を育成し、その成果を集積、地場産業と組み合わせるなど、知的創造立県を目指します。また農業県でもある埼玉県には都市近郊型農業も含め多くの可能性を秘めています。交通網の整備を進め、こうした埼玉の強みを伸ばす施策を進めます。



声を聴きたい! 伝えたい!

今期もミニ集会を開催します。

開催希望の方、お気軽に事務所までご連絡下さい。

お問い合わせは
大山しのぶ事務所へ

TEL.048-994-6000

議が語る。平成23年度からの政策テーマ

テーマ2011

④ 環境・まちづくり

- ◆環境を次の世代に伝え、持続可能な社会をつくる
- ◆子供から大人、誰もが孤立せず、安心して暮らせる社会を目指す

■循環型社会の埼玉モデルをつくる!

環境を考えると、二酸化炭素を出さない、ゴミを出さないということだけでなく、今の地域資源・財産を次の世代に伝えるという意識が必要です。これは10年、20年と世代を超えていく政策です。こうした観点からも循環型社会の構築が急務

です。例えば、行政が思い切って

税制面でのインセンティブを与え、太陽光発電やエコキュートなどを地域全体で進めるモデルも必要です。

また、ユニバーサルデザイン、バリアフリーの思想にたった社会の実現とコミュニティを再生し、人と人が助け合う社会づくりを進めます。



テーマ2011

⑤ 行財政改革・議会改革

- ◆IT活用、行政組織の効率化
- ◆議会の強化・政策提案力の向上

■最少の費用で最大の効果を発揮!

財政の裏付け無しに政策の実現は不可能です。税収が増えない今、最少の経費で最大の効果を上げるため、ITの活用など行政コストの最小化政策が必要です。また、費用対効果の視点を取り入れた事業の見直しの仕組みを確立し、財政の健全化に取り組みます。

また、限られた事業予算の中では、いかに埼玉県の全体ビジョンをつくり、その波及効果を県全体に反映させていくのか。こういったコンセンサスづくりが必要です。今までのように議会は執行部から出てきた政策をチェックするだけではい

けません。私は3年半で自民党内でこういった考え

のもと、政策立案能力を高めるため、党内で政務調査会の活性化を行いました。これを更に進めて、議会全体に対し、通年議会など議会日程の延長、予算の複数年度制度の導入などを提唱し、提言と議論を重視し、新時代に相応しい二代表制(首長と議会)を目指します。

大山しのぶ県議が進めるプロジェクト



八潮市の社会基盤を しっかり創る。 4年間で総額411.9億円の事業費

大山しのぶ県議は、皆様の要望、八潮の将来を考え、埼玉県から八潮市に幾多の事業を投入してきました。今後とも、新たなまちづくりに向け、八潮市の都市整備を進めて参ります。



松戸草加線バイパス「新中川橋」開通式



松戸草加線バイパス 工事前



朽川の整備

大山しのぶ県議が今期に進めた八潮市関係の主な事業

<p>■ふるさと創造資金 平成19年度～22年度……7526万円 (内訳) やしお市民大学・市民大学院事業……50万円 パトロール用品整備事業……143万円 沖通り町会集会所建設事業……333万円 和耕町会集会所建設事業……333万円 品格と活力ある八潮・駅周辺の顔づくり事業……6200万円 緊急市町村路安全対策事業……135万円 八潮街並みづくり100年運動事業……245万円 八潮市健康・スポーツ都市宣言記念「中川親水地域づくり」事業……86万円</p>	<p>■公共団体区画整理事業 県道整備費(西袋上馬場地区) 平成20年度～22年度……7900万円</p> <p>■八潮高校(体育館整備・防水設備・樹木緑化など) 平成20年度～22年度……1億8400万円</p> <p>■耐震診断(朽川排水機場) 平成20年度、21年度……500万円</p> <p>■朽川水域における里川再生 平成20年度～22年度……400万円</p> <p>■インターハイハンドボール女子運営補助金 平成20年度……500万円</p> <p>■国指定文化財(和井田家住宅防災施設改修) 平成21年度……2900万円</p> <p>■夢チャレンジ事業(夢チャレンジ型) 平成21年度、22年度……200万円</p> <p>■埼玉県緊急雇用創出基金市町村事業費補助 平成21年度、22年度……1億7500万円</p> <p>■公共交通の実態調査 平成22年度……1000万円</p> <p>■消費者行政活性化補助 平成21年度、平成22年度……500万円</p> <p>■地域グリーンニューディール基金市町村補助 平成22年度……500万円</p>	<p>■借上型県営住宅整備事業 平成22年度……2600万円</p> <p>■水辺再生事業(東京葛西用水路地区) 平成22年度……2500万円</p> <p>■新中川橋・松戸草加線バイパス整備事業 平成19年度～22年度……238億円</p> <p>■八潮市大曾根地内・平方東京線交差点整備事業 平成19年度～22年度……1500万円</p> <p>■草加彦成線街路整備 平成19年度～22年度……3億7300万円</p> <p>■西新二号線街路整備 平成19年度……1000万円</p> <p>■越谷八潮線舗装道路整備 平成20年度～22年度……1億4700万円</p> <p>■松戸草加線舗装路整備など 平成20年度～22年度……1億7400万円</p> <p>■平方東京線交通安全舗装路整備など 平成19年度～22年度……5億8000万円</p> <p>■草加流山線改築整備など 平成21年度、22年度……6300万円</p> <p>■八潮三郷線橋梁修繕など 平成19年度～22年度……4億1300万円</p> <p>■水辺再生100プラン推進事業(朽川) 平成20年度～22年度……3億0100万円</p> <p>■河川維持修繕交付金(朽川) 平成20年度……7800万円</p>
--	--	--

一般会計の補正予算額 42億7,553万8千円を可決。

累計額は、1兆6,876億6,938万1千円

12月定例会では「平成22年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)」が審議・可決されました。この結果、一般会計の補正予算額は、42億7,553万8千円となり、既定予算との累計額は、1兆6,876億6,938万1千円となっています。

県産ブランド米の被害に対応、 防災ヘリ運用の条例も新たに制定。

今回の補正予算では、次の事業が行われます。今年の夏の異常高温で、県産ブランド米「彩のかがやき」を中心に規格外の米が大量に発生し、農業者に大きな被害が生じました。そこで、被害の大きかった34の市町について「埼玉県農業災害対策特別措置条例」に基づく「特別災害」に指定し、被害農業者の支援を行います。具体的には、来年の米の作付け用の種子代や肥料代について、県と地元市町が共同して助成を行います。

また、被害農業者向け融資である農業災害資金の貸付枠を現在の1億3,500万円から1億円拡大をします。さらに、来年以降の同様の被害発生を防ぐため、高温障害を回避する栽培技術を早期に確立し、農業者へ情報を提供します。

この他、国の経済対策に対応した道路・街路などの公共事業の追加や各種基金の積み増しなどを行っていきます。その他は下記のとおりです。

■財産の取得

昨年7月の墜落事故により使用不能となった防災ヘリコプター「あらかわ1」の後継機(型式アグスタ式AW139型ヘリコプター、1機、1,489,950,000円)を取得することについて、議会の議決がおこなわれました。これにより、早期に防災航空2機体制の復元を図られることになりました。また、次の条例が議員提出案件として提案され、可決成立しました。

■「埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例」

これは、平成22年7月25日、秩父市大滝地内で、遭難者の救助に当たっていた本県防災航空隊の防災ヘリコ



プター「あらかわ1」が墜落し、5名もの尊い命が失われるという痛ましい事故が発生したことを受けて、今後こうした事故が二度と起こることのないよう、早急に必要な措置を講じ、防災ヘリコプターの適正な運航を確保するため、防災航空隊の緊急運航業務に関し必要な事項を定めるために制定されました。

また、12月定例会では下記が採択されました。

■意見書

- ・父親の育児休業取得促進を求める意見書
- ・公共投資の推進による景気対策を進める意見書
- ・高額療養費の負担軽減を求める意見書
- ・脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書
- ・適格消費者団体に対する資金面での支援を求める意見書
- ・子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
- ・理念なき幼保一体化に関する意見書

■決議

- ・北朝鮮による砲撃に抗議し、核兵器及び核計画の放棄並びに拉致問題の一刻も早い解決を求める決議
- ・小学校低学年及び児童・生徒指導に課題を抱える学校に対する人員の拡充を求める決議

■請願

- ・私学教育振興のため公費補助のさらなる充実を求める請願

大山しのぶ県議・決算特別委員長報告

14の部局関係について、詳細に改善点を指摘!

決算特別委員会は、一般会計および特別会計、公営企業会計の決算について審査する特別委員会で、本年度の県政の評価を行うとともに次の年度への課題を指摘する重要な委員会です。12月定例会で大山しのぶ県議は委員長として、審査結果を報告、14の部局関係で93項目の改善や検討を要する事項を指摘しました。以下はその抜粋です。

◆総括的事項…

市職員の定数削減が進んでいることは評価できるが、退職手当が増加傾向で推移する中、財源確保のために定数削減を強いているように受け取れる。このことは職員の士気にも影響を与えかねないため、職員が自ら本県行政を担っているという気概を持てる職場管理により一層努めること。税の公益性や公平性を踏まえ、個人県民税の徴収事務を担っている市町村と連携を密に取り、増加している収入未済額の圧縮に全力で取り組むこと。

◆企画財政部関係…

適正な定数管理を実現するため類似業務の集約化や業務の民間開放をさらに積極的に推進するほか、出資法人改革や市町村への一層の権限移譲により計画的な職員の定数管理削減を図ること。

◆県民生活部関係…

埼玉県消費生活支援センターの運営について相談時間の拡大や相談員の増員、悪質業者の情報提供等の充実を行い、頻発する消費者被害の一層の防止を図ること。

◆福祉部関係…

各市町村の要望を十分配慮して保育所待機児童の解消に取り組むこと。また、認可保育所と各市町村が家庭保育室として指定した認可外保育施設との利用料金格差の解消に努めること。

生活保護受給者の急激な増加に伴い、保護費の負担が自治体財政を圧迫している現状を踏まえ、保護の充実といった観点から、暮らしのセーフティーネットを確保しつつ、より積極的に就労支援に努めること。

◆産業労働部関係…

雇用情勢が悪化している現下の経済社会情勢にかんがみ、産業労働部の事業全般について事業の効果の検証、充実させ今後の事業に生かすこと。商店街の活性化事業について実際に効果があったかどうか追跡調査を行い、成果があった事例を積極的に紹介する等、さらなる支援の充実を図ること。下請け企業の倒産によって経済的に多大な影響を被る孫請企業への支援策を検討すること。若年者を取り巻く厳しい雇用情勢を踏まえ、ヤングキャリアセンター埼玉の持つ機能をさらに充実させるためランチ(支所)の設置を検討すること。

◆教育局関係…

規律ある態度を身につけるため、ルールを守ることができない児童生徒に対しては、厳しく指導することを徹底させること。

高等学校における確かな学力の育成のため、研究推進校での成果やノウハウ等を他校に伝えることにより県立高等学校全体のさらなる学力アップを図ること。

再生紙使用 ©PASS®2011 デザイン・意匠等の無断転用を禁じます。

大山しのぶ・ご意見募集

埼玉県をもっとステキにしたい。政治をもっと身近にしたい。こんな思いで、埼玉県から新しい風を起こすため、活動しています。ご意見、ご要望、メッセージをご記入の上、事務所宛にファックスでお送り下さい。

▶ FAX番号は
048-994-6001